

## EVENTS 2019

### ◆学校説明会

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
4/21 (日)	5/25 (土)	6/16 (日)	7/6 (土)	9/22 (日)	10/20 (日)
9:30-12:00 (予定)					

第7回	◆武陽祭 (文化祭)	◆スポーツフェスタ	◆入試模擬体験会 ※要予約	◆入試直前情報説明会
11/10 (日)	9/7・8 (土・日)	8/7 (水)	11/23 (土・祝)	12/15 (日)
9:30-12:00 (予定)	10:00-15:00 (予定)	9:00-10:30 (予定)	9:30-12:00 (予定)	9:30-12:30 (予定)

- 説明会終了後には個別相談、校舎見学などがございます。
- 開催時間や詳しい内容は本校Webサイトでご確認ください。
- 説明会開催日には、スクールバスを運行いたします。運行時間や発着場所は、本校のWebサイトでご確認ください。
- お車でもお越しいただけます。駐車スペースに限りがございますので、必ず前日までにご連絡ください。

SEIBUDAI NIIZA  
JUNIOR HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDEBOOK 2020

*Act on the Globe*



学校法人 武陽学園

西武台新座中学校

〒352-8508 埼玉県新座市中野2-9-1

TEL: 048-424-5781

<http://www.seibudai.ed.jp/junior/>



中高一貫コース

西武台新座中学校

# 地球サイズのたくましい人間力。

キミたちが大人になる頃、世界はどのようになっているのだろうか。将来、地球上のどこに自分が立っているか、想像してみしてほしい。すごいスピードで変化を続ける国際社会で、未来を描こうとするキミたちに必要なのは、「たくましい人間力」だ。アクト・オン・ザ・グローブ。みずから課題を見つけ、大きな一歩を踏み出すために。充実した豊かな人間性を育む6年間の学校生活が、西武台新座中学校からはじまる。

## SEIBUDAI VISION



SEIBUDAI VISION

01

### 西武台式英語

正しい発音・発声を体得させ、根拠のある解答に導く「考える力」や、スピーディーで正確な読解力・世界で通じる英語力を育てます。

SEIBUDAI VISION

02

### ICT活用教育

他校に先駆けて導入し、独自のノウハウを蓄積しています。共に学ぶ仲間と知恵や知識をぶつけ合い、能動的な学習を行います。

SEIBUDAI VISION

03

### 学力教育

生徒第一の授業を、各教科で展開します。教育の在り方を常に考えた指導で、基礎学力を定着させます。

SEIBUDAI VISION

04

### 人間教育

日々を大切に、多様な体験をさせることで「たくましい人間力」と実用的な学力を身につけます。

SEIBUDAI VISION

05

### 進学実績

開校当初から取り組んできた先進的な教育ときめ細やかな進路指導で、一期生・二期生を志望大学合格に導いています。

SEIBUDAI VISION

06

### 仲間と築く学校生活

恵まれた環境のなか、仲間と触れ合う行事や魅力的な部活動など、充実したスクールライフを過ごせます。

## 未来の社会で活躍できる人間力を 西武台新座中学校・西武台高等学校 校長 深澤 一博

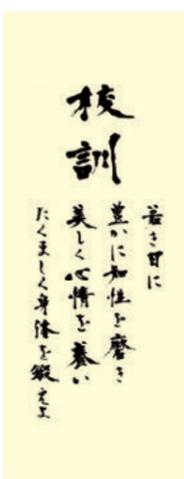


AI（人工知能）が人類の知性を超えるシンギュラリティに到達するという予測があります。多くの仕事がかつてAIやロボットに置き換えられたり、いま存在していない仕事に子どもたちが就くという予測もあります。これから入学する皆さんが活躍する社会は、今からは想像もつかないものだと思います。これからの社会は、今からは想像もつかないものだと思います。

予測が困難な時代であるからこそ、単に与えられた問題を解決するだけでなく、自らが生きる中で課題を見出し、多くの人たちと協力して解決に向かう行動力が大切です。「何を知り、何ができるか」ととどまらず、「知っていること、できることをどう使うのか」という主体的な力が求められているのです。

本校は、その力を育むための「人間教育」を中心に据えた学園です。開校当初から学力教育に加え、西武台式英語、ICT活用教育、人間教育などの独自の試みを取り入れ、生徒が主体性をもって学べる教育環境を整えております。グローバル化への対応としては、オーストラリアの学校と姉妹校の関係を持ち、親善を深めることで英語や人間教育に活かしています。また、文科省で進める戦後最大ともいわれる教育改革・大学入試改革に向けて、英語検定対策やeポートフォリオでの学習記録をはじめました。

Act on the Globe. グローバル化が進む社会において、日本人としてのアイデンティティを大切にしながら世界で活躍できる人間力を磨いてください。



## 教育コンセプト

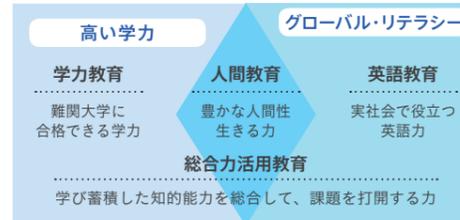
### グローバル社会で活躍する「たくましい人間力」を育む

私たちは「高い学力」と「グローバル・リテラシー」により、国際社会で活躍する「たくましい人間力」の基礎ができると考えています。それは難関大学（G-MARCH以上）を突破できる「学力教育」と、実社会で生かせる「英語教育」、そして豊かな人間性を形成する「人間教育」が融合した「総合活用教育」のうえに成り立っています。

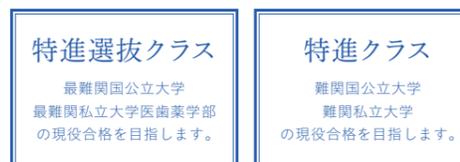
## 3つのステージ

中高6年間で「中1・中2の基礎期」「中3・高1の発展期」「高2・高3の飛躍期」と段階的に3つのステージに分け、各学年や生徒個人の学習到達度や習熟度を考慮した指導を行います。また、難関大学に合格するための学力向上を目指し、中高一貫校の強みである、極端に段差のないスムーズな入試対策を「先取り教育」として実施し、中学生のときから余裕を持った日程で大学受験の準備を進めていきます。

〔グローバル社会で活躍するたくましい人間力〕



## 設置クラス



\*高校進学の際に、生徒の希望や学習到達度・習熟度を考慮して、入れ替えも行います。

# 社会がどんなに変化しても、 生き抜く「人間力」を。

人工知能が人間の知性を超えるシンギュラリティは2045年であると予測され、約半数の職業が機械に代替される可能性があるといわれています。

また、企業が採用する外国人が増加するなど、グローバル化が進んでいます。

これからの社会は、急激に変化し予測が困難となっています。

このような社会を生き抜くためには、「主体的に問題を解決していく力」や「グローバル化に対応する英語力」が必要です。

西武台新座中学校では学力教育から人間教育、新しい学びなど、さまざまなカリキュラムを取り入れて「地球サイズのたくましい人間力」の育成をめざします。

NEXT 西武台



## 西武台式英語

SEIBUDAI ENGLISH METHOD

グローバル時代の英語教育は、大学受験だけを目的とした詰め込み式の学習ではいけません。本校独自のメソッド「西武台式英語」は、発音・発声の基礎から、英語で考える力を育てます。「一生使える英語」の習得で、世界の見え方が変わります。



### 西武台式英語の特徴

今後の大学入試や大学教育では、「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能に加えて、スピーチやプレゼンテーション、ディベートなど、統合型の言語能力が求められます。従来型の受験英語に向けた学習だけでは、こうした能力を身につけることはできません。6年間の限られた時間の中で、これらの高い能力を効率よく身につけるために、日本人の教員とネイティブが両輪となって指導にあたる独自の英語教育メソッド、それが「西武台式英語」です。

### 日々深化する「西武台式英語」

発音・発声をメインにした基礎期の授業

中1・中2の基礎期には朝の20分でのSタイム(SEIBUDAI TIME)で英語の発音・発声のトレーニングをします。口や唇の形や舌の動き、息の出し方やその強弱、その息に声を乗せる方法、歯の使い方などをわかりやすく、ていねいに説明することで英語の発音に必要な形状記憶の再設定を行います。

「覚える」でなく「考える」授業

使用教材は、中高一貫校を対象にした『New Treasure English Series』(Z会)を使用します。教科書で「英語の根幹」や「語句のコア・イメージ」などを教える独自の手法をとります。これまでの丸暗記の英語教育ではなく、考える力を育みます。Oxford Reading Treesなどの絵本の使用に際しても、絵をただ眺めるのではなく、そこで考えることを重視しています。

英語で考える力をつける発展期の授業

読解力というのは情報収集力ということでもあります。読解力=英文解釈といった古い考えからの脱却を図ります。相手が何を言っているのかを理解すること。相手が何を言っているのかが分からず発信することはできません。これではコミュニケーションが成り立ちません。英語を日本語に訳して理解するだけではなく、英語を英語として理解することを目指します。





どうせ学ぶなら「カッコイイ英語」を目指し、異文化への理解を深め、世界に通用する力を。ネイティブのような「カッコイイ英語」の習得を目標とするのは大きな理由があります。それは発音によって、一言一句、聞き間違えたり伝えきれなかったりすることを避けるため。正しくカッコイイ発音を訓練することによって、異なる文化への理解が深まり、世界に通用するたくましいコミュニケーション力が備わります。さあ、一緒に発音・発声練習からはじめましょう!

Teacher's Message

英語 高味 直毅



特色ある取り組み

繰り返し鍛えるスパイラル学習

「わからない」をそのままにしません。中2からは「習熟度別クラス (Advanced class / Basic class)」を導入し、何度も繰り返して既習事項を扱う「スパイラル学習」によって、着実な学力の定着を目指します。

ICTの授業で、思考を言語化

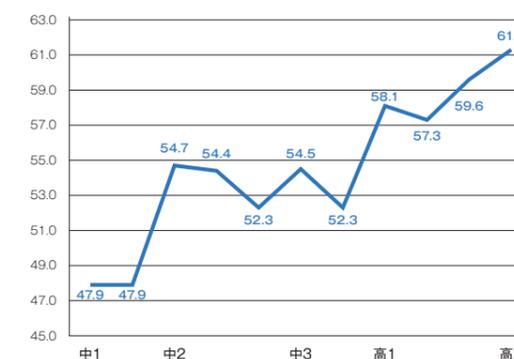
ICTの授業では、3人1組のアクティブ・ラーニングによって解答までの経緯を発表します。自分の言葉を用いて仲間と議論し、互いを褒め合い、計画的な学習で点数が伸びます。小さな成功体験の積み重ねが、確実に英語の楽しさを深めてくれます。

西武台式英語による成果・実績

独自教育で、驚異的な成績アップを実現

中1でスタートする英語教育は、基礎学習が非常に重要です。「西武台式英語」によるめざましい成果は、中2から顕著に現れます。グラフのデータからわかるように、入学時点から徹底して行う「発音・発声に特化した授業」が、学力アップへとつながります。基礎期に地道な発音・発声の訓練を築き上げることで英語の理解力は一気に加速し、中2の4月時点で平均偏差値55に迫る学力が身に付きます。また、中高一貫で高校へ進んだ内進生は、さらなる英語力の上昇が期待できます。中3時点で高校の内容を先取りした学習を進めるため、高校の成績においては、高校から入学する優秀な外進生より、内進生のほうが常に上位をキープしています。15クラス中、1位 (特進選抜クラス) と3位 (特進クラス) を記録しました。偏差値でいえば難関大学を狙える60以上のレベルに達しており、中3までに習得した読解のスピードと文法に対する理解力が、高校生から飛躍的に伸びることを示しています。

[ベネッセ進研模試の上位クラス平均偏差値の推移]



6年間のカリキュラム

学年	中1	中2	中3	高1	高2	高3
STAGE	基礎期		発達期		飛躍期	
Speaking (スピーキング)	Sタイム・The JINGLES (ザ ジングルズ) 単語の正しさ (Accuracy)		英文の流暢さ (Fluency)		英語の発話能力 (Speaking Competence)	
Reading (リーディング)	NEW TREASURE 1	NEW TREASURE 2	NEW TREASURE 3	NEW TREASURE 4	演習	
	Oxford Reading Trees Stage 1~8		Oxford レベルアップバージョン		Oxford 最難関バージョン	
	全体をつかむ力		英単語×英熟語 NOTEBOOK			
	詳細をつかむ力		論理的読解力		文構造把握力	
Listening (リスニング)	Sタイム・The JINGLES (ザ ジングルズ) 音素識別力 (英語特有の音【音素】の知識を深める)		過去の入試問題を分析し 出題パターンごとに演習			
	単語の音を個別に聞きとる力		英文の中で単語や連語を聞き取る力			
	道筋の転換をつかむ力		論理展開をつかむ力			
Writing (ライティング)	正しい文を作る力		文 (文章) 構造組み立て力			
	文章を作る力		論理的文章構成力			
	NEW TREASURE Workbook (Stage 1~4) 文法問題集 (Stage 1~4)					

PICK UP!!



The JINGLES (ザ ジングルズ)

ネイティブの先生の発音をマネしようと試みても、正しい発音や発声につながらないのが旧来の英語教育でした。英語を発音・発声するために必要な筋肉を科学的にアプローチしたプログラム「The JINGLES (ザ ジングルズ)」を日本の中学校で初めて採用。英語を発音・発声するときを使う筋肉の違いを理解し、必要な筋肉の発達を促すことで、ネイティブが話す英語が自然と身体に備わります。「The JINGLES (ザ ジングルズ)」は、プロの翻訳者や海外で活躍するビジネスパーソンから支持される、評価の高い英語教材です。実践的な教材を通し、すぐに世界標準の英語力を目指すフィールドに立つことができます。





ICT活用教育

ICT EDUCATION

学んだ知識を統合して、課題を打開する力を育成するプログラム「ICT活用教育」。実社会において答えを導き出すために、ICTの教育コンテンツを利用し、小論文、ディベートなどさまざまな手法で果敢にチャレンジを行うことで、多角的な思考力、判断力、表現力を鍛えます。

アクティブ・ラーニング

主体的に課題を見つけ、  
解決する学習が新たに深化

開校当初より、北海道大学・重田先生や東京大学・中澤先生を中心とする専門研究チームと協同し、力を入れてきた「アクティブ・ラーニング」は、本校の特色として根づいてきました。他校に先駆け、「聞く」「読む」「書く」「話す」を、主体的かつ能動的な学習へ展開する取り組みは、さらなる深化を続けています。自ら課題を見つけ、解決する過程は重要な学びの機会です。互いの意見を交換したり、iPadを使って調べた情報を編集したり、他の生徒のプレゼンテーションから新たな視点を発見する。eラーニングの効果的な導入で双方向的な学習スタイルを体得していきます。



特色ある取り組み

STEP 01 INPUT

課題解決の方向を能動的に探り、  
ICTを柔軟に使いこなし、情報を集める

ICT活用

STEP 02 TRANSFORM

集めた情報を交換し、比較・評価・見直しの  
3ステップでゴールにつなげる

スタジオ型教育

STEP 03 OUTPUT

学んだ知識を言語化し、  
プレゼンテーション等で他者に伝達する

ICT活用



最先端のICT環境

1人1台のiPadを用いることで、  
論理的かつ直感的な学習が可能

本校ではiPadを生徒に1台ずつ用意し、各教科の学習に活用しています。ICT（情報通信技術）を利用した授業では、インターネットを通じた情報収集や、アプリケーションを使ったプレゼンテーション資料の作成はもちろん、きれいな植物の画像から細部をスケッチしたり、運動時に動画を撮ってフォームの確認を行ったりと、視覚的かつ直感的で思考力を育む学習指導を可能にしています。また、校内は無線LANを完備しているほか、スタジオ型教室「SACLA（西武台アクティブ・ラーニング・ラボ）」を設置し、グループ学習やディスカッションなど、多彩な授業形態に対応できる万全の環境を整えています。

eラーニングの応用

教育コンテンツを効果的に用いて、  
学校と家庭の学習をつなぐ

本校では、ICTを使い、学校の授業だけでなく家庭学習を充実させる取り組みをいち早く進めてきました。iPadを通じた勉強法として、授業を動画で記録して復習に応用し、教師からさまざまな情報を生徒に発信することで、予習教材としても活用。eラーニングで学校と家庭の学習をスムーズにつなぎ、生徒たちの勉強を効率的にサポートします。社会科や理科での導入に加え、英語科でもNEW TREASUREデジタル教科書を用いることで、実り豊かな授業を行っています。

PICK UP!!

eポートフォリオ

中長期的な視野に立って継続力のある教育を行っていくためには、学校での活動記録を残し、担任と各教科担当の間で生徒の情報を引き継いでいくことが大切です。本校では、試験の点数だけでは測れない生徒の学習進度や保護者の方々とのやり取りを、タブレット端末を駆使したeポートフォリオとして役立て、ICTの新たな活用法として導入していきます。



大手教育機関が提供するクラウドサービスを利用。先進的な教育コンテンツの配信や、eポートフォリオによる支援を併用し、自学自習力を高めます。



教務主任 山田 清

Teacher's  
Message

学習の基本を忘れず、新しいツールを  
上手に活用する教育を推進します。

ICT導入当初、教育現場から教科書がなくなるのでは?と叫ばれていた時期がありました。しかし現在は、普段の授業・学習の姿勢が基本であると改めて感じます。同時に目新しい教材は「書けない」自分や、他人の意見を「聞く」意味などの気付きを与えてくれます。さまざまな学びの手段を上手に活用しながら、すべての教科で、奥行きのある学習を目指しています。

情報 河野 芳人



# 学力教育 ACADEMIC ABILITY

学力とは、知識の量と「自分で課題を見つけて考え、解決する力」の総合力です。主体性を持って学習を計画的に進め、コミュニケーション能力を磨けば、自分自身を客観視する社会性が備わります。中高の6年間は、社会に出るための基礎を作る大切な時間です。すべての教科の学びは、激動する時代を生き抜くための知恵となり、「たくましい人間力」を育てます。

- 国語 p.09
- 数学 p.11
- 社会 p.13
- 理科 p.15



03

## 国語

Japanese

### 国語の学び

#### 国語はすべての思考力の原点です

友達と話をするとき、勉強をするとき、本を読むとき、そして物事を考えるとき。私たちはいつも日本語を使っています。国語はすべての基礎であり、あらゆる教科の学力向上につながる教科です。これからの時代、さまざまな国籍の人と触れ合う機会が多くなります。国語の学力を十分に蓄えておけば、他の言語や考え方を理解する力が培われるだけでなく、主体的に自分の考えを構築し、表現する力が養われます。日常における思考力に幅や深みが生まれ、心を成長させる国語教育に主眼を置いています。

### 特色ある取り組み

#### 「小論文講座」への取り組み

思考力と表現力を身につけるため、本校では「小論文講座」を積極的に実施しています。「日本は公用語を英語にすべきか」など、正解の定めにくいテーマに対し、800字程度で意見をまとめる学習です。自分としっかり対話をしながら意見を組み立て、論理的に伝わる書き方を学ぶ一方で、生きた言葉や的確な語彙、正しい漢字が使えるよう、基礎的な語学力の強化にも努めています。

#### 能動学習で、読み取る力を養う

文章を読み取る力は、本文を繰り返し読んで理解し、論理的な考え方を地道に積み上げることで育ちます。国語のアクティブ・ラーニングでは様々な解釈が可能な問いに対してグループで話し合い、発表を行います。根拠を探す力、互いの意見を認める力、筋道を立てて話す力を意識した学習法により、中3で高校生に引けを取らない国語力を習得できます。

#### 文学作品を通じて学ぶ、自己成長

中1からの6年間は多感な時期です。たくさんの文学作品に触れることで、日常の中だけでは想像できない、さまざまな現実の感じ方や価値観の違いを知り、他者とは異なる自分自身の個性や、多くの発見を伴う自己成長が導かれます。将来の大学入試では、論理的な思考が問われると予想されています。多くの作品に接することで、自分らしい意見を言葉として発言し、表現する力を体得できます。

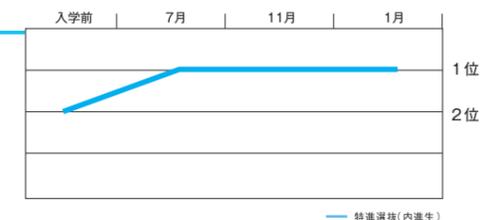
### 6年間のカリキュラム

#### 古典授業の早期着手

本校では、中1の早い段階から古典に慣れ親しめるように、全学年合同の「百人一首大会」を行っています。過去の優勝者は1年生。年齢に関係なくゲーム感覚で楽しむことができるため、古典への苦手意識がなくなり、スムーズに授業へ取り組めるきっかけを作っています。中2では漢文の学習を取り入れ、中3では古文の文法を本格的に学んでいきます。中学の3年間でしっかり古典に触れることで、高1からさらに高いレベルの学力を目指すことが可能となります。

学年	中1	中2	中3	高1	高2	高3
STAGE	基礎期		発展期		飛躍期	
プログラム	中学国語		高校現代文			現代文演習
	語彙学習(漢検)					
	書写					
	古典入門		高校古文・漢文			古文演習

【参考】1期生 国語の学年順位



### PICK UP!!

#### 学年首位を譲らない先輩たちの高い学力

先取り教育で、中3から古典を学習してきた内進生の先輩たちの成績は、飛躍的に伸びています。高校進学後のベネッセ模試において、7月から11月、1月と学年トップを譲っていません。本校で学んだ成果が、確実に実を結んでいる証です。

— 特進選抜(内進生) —

数学  
Mathematics

数学の学び

自分の力で考えることから  
始まります

数学に苦手意識を持つ生徒が少ないのが本校の特徴です。生徒たちは授業を通して「わかるようになりたい」という前向きな気持ちを自然と育みます。問題を解く過程そのものを楽しみ、主体的にチャレンジできる雰囲気作りのために、教師は全力でサポートします。積極的に質問し、自分の力で理解しようとする生徒の成績は、中高の6年間を通して必ず伸びていきます。同時に、考え抜く訓練を繰り返し行うことで、直面するさまざまな問題解決への道を切り開く、たくましい知恵が養われます。

特色ある取り組み

宿題の3ステップで、着実な学力向上へ

宿題においても「自分で考えること」を重視します。宿題の3ステップ「自力で解いて提出→答え合わせをする→間違えた問題は再度、解き直す」を着実に積み重ね、数学的な思考力を鍛えることで、やがて解き方を自分で導き出せるまでに成長します。飛躍期には日常生活に起こり得る身近な問題に挑戦することで、正誤だけを確認する受験用の学習ではなく、あらゆる課題に立ち向かえる能力を育てます。

公式やグラフの見方など、基礎学習の徹底

基礎学力なくして数学の勉強は成り立ちません。基礎期では基本の解き方や公式の意味、グラフの見方などを丁寧に反復し、発展期以降の応用学習へとつなげます。また、図形やデータを視覚的に理解するために、ICTを効果的に活用しています。幾何や代数を視覚的に学べる動的幾何ソフト「GeoGebra」を利用したアクティブな授業など、生徒たちの学習意欲を刺激する工夫を行っています。

考え合うことで、磨かれる真の数学力

集団の中で考えを発言し、意見を聞き、また新たな考えを生み出すアクティブ・ラーニングは、応用力が求められる現代において有効な学習方法です。グループでの討論を通して論理的思考が備わり、公式や解法を比較し合うことで、解答にいたるまでのさまざまな道筋を見つけ出す力を養います。数学の根幹に触れ基礎概念をしっかり理解することで、記述式の問題に対しても、解法を導き出せる、真の数学力が身につきます。



数学 小澤 瞳美



Teacher's Message

数学 成澤 拓也

数学に前向きな生徒が多くて驚いています。さらなる学力アップに期待しています。本校には数学を肯定的に感じている生徒が90%もいます。この嬉しい声に応えるためにも、さらに学力向上させたいと思っています。解法を文章で書いて答えを導く、得点の取りにくい記述式の問題でも、細部まで添削し、相手にわかる書き方が身につくまで教えます。まだ数学苦手だと思う人がいれば、ぜひ質問に来てください。一緒に成績を伸ばし、好きな教科にしましょう。



数学 石野 孝明



6年間のカリキュラム

余裕を持った細かな学習指導日程

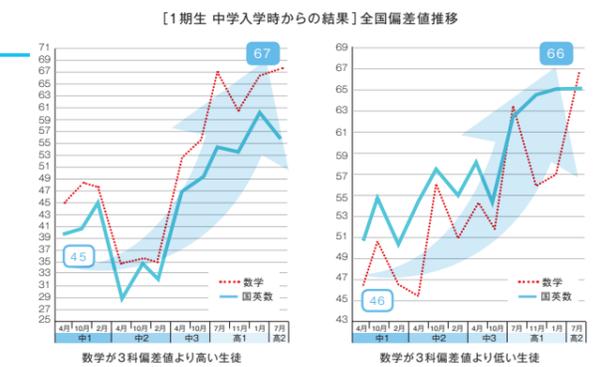
朝の20分を活用したSタイムでは、興味・関心を促すための導入授業を行います。学習テーマについてじっくり考えることで、生徒は数学を身近に感じることができるので、数学の授業が効率的なものとなります。夏期・冬期・春期講習では発展的な問題演習を行い、学力の大きなレベルアップを図るなど、細かく到達度を見ながら成績向上を目指します。また、中3では、高校内容の授業へと移り、余裕をもって大学受験の準備を進めていきます。授業時間を多く確保し、丁寧に指導できることも中高一貫校ならではのメリットです。

学年	中1	中2	中3	高1	高2	高3
STAGE	基礎期		発展期		飛躍期	
プログラム	中学数学		数学Ⅰ・A・Ⅱ・B		文系 数学Ⅱ・B 数学Ⅰ・A演習	文系 数学Ⅱ・B演習 数学Ⅰ・A・Ⅱ・B 数学Ⅲ演習
					理系 数学Ⅱ・B 数学Ⅲ	国公立理系 数学Ⅰ・A・Ⅱ・B演習 数学Ⅲ演習
						私立理系 数学Ⅲ演習

PICK UP!!

主要3科目のなかでも  
高得点が望める

本校の1期生の数学の偏差値は、中学入学時から比べ、大幅にアップしています。高い学力の伸びをマークしているのは、徹底した基礎学習と先取り教育の結果です。苦手意識を持ちやすい数学だからこそ、みんなで楽しみながら勉強に取り組める学習方法や、仕組み作りを行っています。当たり前のことをコツコツと積み上げ、平均偏差値を上回る成果へとつなげています。





# 社会

Social Studies

## 社会の学び

### 広い世界で、生きる術を見出す

社会科の本質は、世の中を広く理解し、生き抜く術を身につけること。そして、学習を通じて日本人のアイデンティティーを見つけ出すことと言えます。ひとりの人間として社会を創造する力を育て上げるためには、憲法や地形、風土、歴史など、日本という国をたくさんの角度から学ぶ必要があります。それは同時に多様な価値観が共存する世界全体を知ることにもつながります。グローバル社会の一員として活躍するこれからの世代にとって、社会科は自己形成のための重要な教科のひとつです。

## 特色ある取り組み

### 柔軟な思考力が育つディベート

肯定側と否定側に分かれ、説得力を競うディベートを社会科学習に導入しています。授業では「江戸幕府は開国を進めたほうが良かったか」や「EU離脱に賛成か」といった、生徒たちが興味を持つテーマを掲げ、グループ同士で議論を行います。異なる時代や国、対立する意見を持つ人の気持ちになって想像力を働かせることで、柔軟かつ多様な考え方ができるようになり、歴史や政治への興味が一層深まります。

### ICTを使ったアクティブ・ラーニング

ICTを使った授業は、社会科を好きになるきっかけを与えてくれます。特に地理などではiPadを活用して情報を集め、まとめて発表するアクティブ・ラーニングを行っています。主体的に情報を収集して精査し、みずから作成した資料を用いて、相手に伝わるプレゼンテーションを実施するまでの一連の流れは、学習の本質的な楽しさを教えてくれるうえに、物怖じしない表現力を養います。

### 必ず教科書に立ち返る学習

社会科の楽しさをICTで直感的に学ぶことはもちろん、学力定着のためには必ず教科書・資料集に立ち返りながら学習を進めています。教科書・資料集は覚えるべき内容の宝庫です。日常のニュースや社会の仕組みから感じる疑問を照らし合わせることで、社会科という教科そのものを体系的に捉え、歴史的な事象や事実を読み解く力を習得します。

## 6年間のカリキュラム

### 積極的に学び、考え、発表するチカラの育成

中高一貫校の特色である6年間の教育期間を活かし、幅広い分野についてじっくりと学びます。中1では地理、中2では歴史、中3では公民を学習し、時間をかけて思考力、判断力を養います。中学3年間は詰め込み式の学習は行わず、探求や考察を中心に据えた指導法で、確実に学力を定着させていきます。地名の漢字書き取りをはじめとした基礎固めを行い、歴史のなかで憲法の成り立ちを学ぶ。社会で活躍する一員を育成することが、本校の社会科学習において目指すゴールです。

学年	中1	中2	中3	高1	高2		高3	
STAGE	基礎期		発達期		飛躍期			
プログラム	地理・歴史		公民 (政治経済)	日本史A 世界史A 政治経済	文系	日本史/歴史(選択) 倫理	国公立文系	日本史・日本史演習 世界史・世界史演習 政治・経済演習
					理系	倫理	国公立理系	地理A

### PICK UP!!

#### [ディベート] 多様化する社会で、論理的に物事を考える基礎を築く

たとえば「日本は小売店の深夜営業を禁止すべきである。」といった論題に対して肯定側と否定側に分かれて第三者である審判を説得する競技です。勝敗の決め手は、相手を強い言葉でねじ伏せることではありません。膨大な情報の中から自分の主張を裏付けるエビデンス(証拠資料)を集め、それらを論理的に組み立てる論理構成力や、それを正しく相手に伝える表現力、相手の反論にしっかり耳を傾け、相手と自分の議論を比較したうえで自分の議論が優れていることを納得させる表現力が求められます。こういった思考を通して生徒は多角的な物の見方、プレゼンテーション能力、論理的思考といった社会で活躍するための能力を身につけます。本校では部活動として4年前に「英語部 ディベートチーム」を設立。第23回全国中学・高校ディベート選手権において3年連続ベスト16を獲得しました。



理科  
Science

理科の学び

小さな疑問が高い学力を生み出す

「なぜ雨が降るのだろう」「なぜ息ができるのだろう」。私たちは自然界に生きていながら、その成り立ちや法則を知らないことが多いものです。本校では、身近な現象をきっかけに理科の面白さを伝える魅力的な授業を行っています。日頃から小さなことに疑問を持つ生徒を高く評価し、自分で考察する楽しみを重視することで、生徒たちの探究心を刺激します。また、理科はトライ＆エラーを最も体感できる教科でもあり、授業を通して得られる経験や思考方法は、やがて高度な学力を生み出す土台となります。

特色ある取り組み

実験から学ぶ数々の教え

理科の実験には多くの能力が求められます。安全管理の徹底からはじまり、時間内に物事を進める計画性や、互いに協力し合うための社会性など、チーム内での役割分担や行動が主体的なコミュニケーション能力を育みます。また、実験結果に誤差が生じることを目の当たりにした際には、教科書通りにならない実験の難しさに気付くはず。目の前の壁を試行錯誤して乗り越える体験を通して、自己の成長を必ず実感できます。

ICTを使った自由研究

肉眼では観察できないミクロの世界や、地核の動きを学ぶときなどにICTは役立ちます。実際に起こっている現象を視覚的に理解し、調査学習に活用することで、理科への興味を強く喚起します。その集大成が夏休みの自由研究です。本校では積極的にICTを利用した自由研究を推奨しています。動画やイラストを駆使し、優れた考察力で生徒たちが発表を行う姿は、素晴らしい学習の成果といえるでしょう。

答えを導き出す喜びと驚き

理科の場合、実験そのものがアクティブ・ラーニングと考えられますが、通常授業でも多くの取り組みを実施しています。小テストを生徒たち自身で作成し、作成者本人が解説することで、答えと解法を学ぶ授業はその一例です。既に指導した問題の解き方ではなく、違う解き方を表現しようと試みる姿勢が見られ、新しい解き方を応用する生徒も現れます。答えを導き出す喜びと、驚きを感じられる工夫を行っています。



理科 中嶋 令奈

理科 渡辺 達矢

Teacher's Message

目に見える成長を感じられるのが理科学習の素晴らしさです。

月に1回、理科の時事ニュースや授業内容に関する記事を集めた「理科新聞」を発行しています。毎月心待ちにしてくれる生徒もいて、iPadを持ち歩きながら校外問わず、どこでも取材をしています。新聞は共有データとしてアップロードし、ICT授業に利用します。また、実験では3人1組の少人数でグループを作り、積極性を引き出す雰囲気作りを行っています。

6年間のカリキュラム

自分で考え、問題を解く力を引き出す指導方法

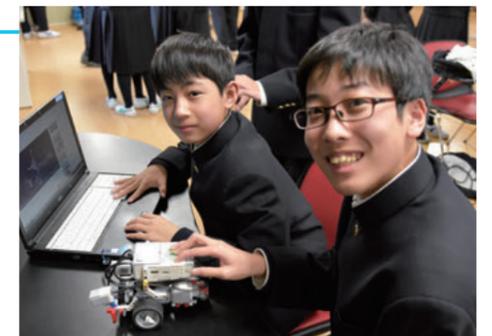
中1で実験から理解できる単元、中2は理論的な単元を履修し、中3では高校理科の内容に入ります。常に先取りの学習をすることで、高3では大学受験に向けた演習に時間をかけることができ、志望校別の授業を展開していきます。また、将来の大学入試改革の予想と合わせて記述式の指導に力を入れており、中学生のときから自分で考え、問題を解く力を引き出す授業を行っています。授業数が多いため、学習進度に合わせて質問の質も高くなり、思考力の基盤をしっかりと築き上げます。

学年	中1	中2	中3	高1	高2	高3
STAGE	基礎期		発達期		飛躍期	
プログラム	中学理科		化学基礎	物理基礎 生物基礎	文系 理系	化学基礎 化学 物理/生物(選択)
					文系 国公立理系 私立理系	理科演習 化学演習 理科演習 理科演習

PICK UP!!

ロボット制御部

ロボット制御はプログラム通りに動かす面白さがあります。動作を段階的に見て確認し、組み立て、プログラムを描く工程を積み重ね、理想の形に仕上げます。一昨年前、経済産業省・横浜市教育委員会後援の「宇宙エレベーターロボット競技会」に出場しました。ロボットは開発までが苦難の連続であり、完成したロボットを手に出場を果たせたことは、大きな成果です。当面の開発目標は自転車をごくロボットを作ること。バランスを保ちながら左足と右足を交互に出すプログラミングは、中学生にとってハイレベルな課題です。ゴールに向けて一歩ずつ楽しみながら、自分たちの考えを形にすることを目標としています。





SEIBUDAI  
VISION

# 04

## 人間教育

HEARTS &  
SPIRITS

目標を設定し、多様な経験をしていくなかで、思いもしない出会いや発見に巡り会うのが学校生活です。そこで体験した出来事は自信をもたらす、思考力、判断力、表現力を豊かにしてくれます。やがて生涯の友となる仲間と共に学び、切磋琢磨する日々は、国際社会を生き抜く「たくましい人間力」を引き出します。かけがえのない毎日を大切に感じ取ってください。

### 1日1日、時間をかけて ゆっくり育む人間教育

「たくましい人間力」を養うために、  
本校ではまず4つの能力を重視します

- 主体性：どこに課題がありどう乗り越え解決するか工夫をすること。
- 社会性：社会の現状をしっかりと把握し、未来を見る目を養うこと。
- 計画性：日々の行動の計画をたて、自分の人生を自分で設計すること。
- コミュニケーション能力：集団があつての個人を忘れず、互いを認め自分を磨くこと。

これらは決して難しいことではなく、意識して積み上げれば必ず「たくましい人間力」として根付きます。

### 「コツコツ日誌」で 日々の成長を感じ取る

担任教師とのやり取りで、  
きめ細やかにフォロー

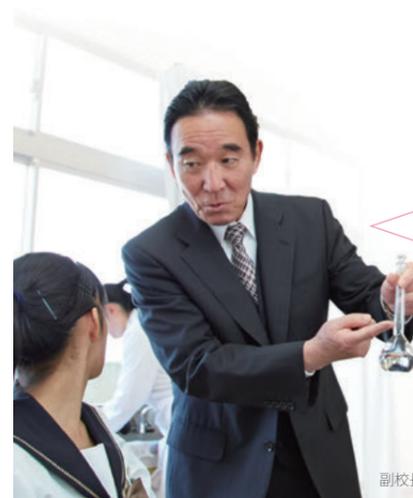
毎日、学習の時間を記録し基本的生活習慣を身につけるための「コツコツ日誌」。フリーに書ける欄があり、その日の出来事から悩みや相談、英語の演習、自作の小説など自由に書き込みができます。担任教師とやり取りをしながら、学習面の改善だけでなく、目に見えない生徒のさまざまな成長がうかがえます。



### 自分自身と向き合う6年間

中高一貫校だから  
実現できる「自分探し」

本校には主体性を育み、じっくりと自分の将来を設計できる6年間があります。長所を見つけ、欠点を克服することで、学力向上を図りながら思考力、判断力を広げる有意義な時間は中高一貫校の魅力です。身近な先輩たちから数年先の未来をイメージし、その姿から多くのことを学びます。



#### Teacher's Message

「たくましい人間力」を育み、  
力強い味方として最後まで寄り添います。

私たちは、どんな状況でも「自分の生き方」を見つけられる生徒たちを育てたいと願っています。そのためには基本的な生活習慣を徹底させ、日々を充実させることが大切です。一人ひとりを持つ個性を評価し、「たくましい人間力」を育てていきます。迷ったらいつでも相談に来てください。みなさんの力強い味方として最後まで寄り添い、必ず大きな成長へ導きます。

副校長 小林 正高

### PICK UP!!

#### 西武台アカデミア

「西武台アカデミア」は、先人に学ぶキャリア教育のプログラムです。研究者や第一線で活躍する社会人を招き、講演を通じて知的好奇心や学問・職業への興味を喚起します。これまでにNASAケネディ宇宙センターの研究者やジャズピアニスト、住職などさまざまなスペシャリストが登場。誇りを持った生き方に感銘を受ける生徒は多く、質問や感想文は的を射た鋭い内容だと講演者に驚かれるほどです。また、失敗談や成し遂げたミッションなど、講演者の豊富なエピソードは将来の理想像を考える機会になり、学習意欲の向上へとつながります。

### PICK UP!!

#### アメリカンサマーキャンプ

夏休みに実施する2泊3日のキャンプ。英語だけを使いアメリカ人のトレーナーと一緒に生活することで、語学だけでなく、相手の気持ちを察し、伝えるためのコミュニケーション能力が高まります。

# 04

# 海外相互交流

自ら考え、行動するという主体性を開花させることが、海外相互交流における一番の目的だと本校は考えています。異なる文化に触れ、挑戦を重ねて成功や失敗から多くのことを学んでいく。最後までやり切ることの重要性を教え、社会性と計画性、そしてコミュニケーション能力を最大限に高める教育の実現に、教職員一丸となって取り組んでいます。

## International Interaction



英語力を武器に、世界の人々と交流し、他者理解や自己理解を深めましょう。

国境という壁がどんどん低くなり、世界を舞台にビジネスチャンスが広がることは容易に想像できます。英語力は言葉の壁を乗り越えるうえで第一のハードル。しかし、英語はあくまでも道具です。使いこなすことで、いろいろな国の人々と交流し、他者理解・自己理解を深めることが大切です。地球で暮らす人々が一緒に物事を作り上げていく時代は、すぐそこまで来ているのですから。今年は本校の生徒が3か月間の留学にチャレンジします。アドバイスは物おじしないこと。少くも失敗してもいいんです。失敗は明日の成功に転移できる貴重な体験ですよ。

Teacher's Message  
英語 上村 洋貴



### フレンドシップ校 (姉妹校) 協定締結

さらに海外との絆を深めるために

以前より交流を続けているティンデル・クリスチャンスクールとフレンドシップ校協定を結び、交流を継続的にやりさらに交流内容を深めていくことを約束しました。互いの文化や、言葉の違いを超えていく存在として両校の発展に務め、交換留学生の制度化や教員同士の相互交流をはじめとした、さまざまな形で国際交流を活発化していく予定です。

### 最新テクノロジーを活用したコミュニケーション

スカイプを活用して、日常的な海外交流を実現

オーストラリア人間力研修を実施する前に、現地のクラスと本校のクラスをスカイプによってつなぐことで、相互のコミュニケーションを図る事前学習を実施しています。映像と音声によって双方の挨拶の仕方を学ぶなど、「遠くて近い存在」をより身近に感じる授業は、語学や文化の違いについて考える上で、大きなきっかけとなります。

### コミュニケーション能力と異文化交流

海外で生活することによって、実践的な海外体験を

本校から海外を訪れるだけでなく、海外提携校の学生たちを招いたホームステイを実施しています。日本滞在中には、授業で自国の文化をプレゼンテーションするなど、生徒同士の交流を行うことで、異なる文化に触れ、視野を広げるための一助としています。また、豪州滞在時には、全生徒が1人1家庭へ、約2週間ホームステイを経験し、日々の授業で培った英語力や異文化への適応力を養います。

# 04



## PICK UP!!

Interview 高校1年1組 特進選抜コース 三浦 友生太 さん  
オーストラリア ティンデル校への留学決定! (2019年7月~)

僕の夢は海外で日本語を教える仕事に就くこと、世界遺産を巡る世界一周の旅に出かけることです。そんな夢が実現したときに困らないよう、さまざまな文化や言葉を持つ人たちと交流し、他者理解を深めておきたいと考えて留学を決めました。オーストラリアは多民族国家といわれるように、欧州や米国、アジア、アフリカ、南米など、さまざまな国の人たちが移住してきています。得意な英語で、たくさんの人たちとコミュニケーションを図りたいと思います。僕は1歳のころから英語のアニメに親しみ、幼稚園の年長のときには英検5級に合格しました。その大好きな英語に磨きをかけることができたのが、西武台の英語の授業でした。海外でも困らない発音・発声を基礎からきっちり身につけることができたのは、毎日のトレーニングの成果だと実感しています。

ホームステイするのはオーストラリア人間力研修のときと同じホストファミリー、とても陽気で、気さくな人たちなので安心しています。留学先のティンデル校には、日本語を教える外国人教師がたくさんいます。自分の将来の夢を話して、アドバイスをもらいたいです。僕にこんなチャンスをくださった西武台新座中学校の先生方には感謝の気持ちでいっぱい。今後、留学できる生徒がどんどん増えればいいなあと思います。





# 中・高・大接続

## Building Relationships

中学から高校、そして大学への進学期は、大きな学びを得られる貴重な期間です。進学によって、生徒の情報が共有されないことで、学力の壁や、進路についての悩みを抱え込んだりしないように温かく見守り、指導することが大切です。生徒たちの夢の実現に向けた「一人ひとりを大事にする教育」のために、西武台は中・高・大接続を力強く進めています。

### 将来への準備期間

中高一貫教育から、大学との連携を見据える

総合的・多角的な視野から生徒たちの教育を考える時、中高一貫だけでなく、大学との関係強化は今後欠かせません。学力面に加え、生徒たちの不安解消や教員の相互交流においても、幅広い情報交換を行っています。より高度な学びを実現するために、西武台らしい中高大接続の形を実現していきます。

### 西武台の強みを活かした連携

西武台が培った主体的学習をさらに進化させる

創立以来、本校が強みとして掲げているアクティブラーニングの分野では、専門家である東京大学、北海道大学などの先生方が本校を訪れ、先進的な技術や知識に関する情報共有を始めています。将来的には生徒たちが大学での学習に参加するなど、新しい体験型授業の試みについても、共同での取り組みを活発に議論しています。

### Teacher's Message



教頭 山下 伸雄

高大接続のアイデアを具体化させ、主体的学びの気づきを与えたい。  
 中・高・大接続で一番大切なのは学びの連続性を作り、子どもたちが安心して勉強できる環境を整えることです。中高一貫校ですので、6年間については何の問題もありません。高校・大学の部分については、十文字学園女子大学と高大連携の協定を締結するなど、さまざまな交流を模索しています。現在は大学側からインターン生の受け入れが実現していますが、将来的には本校の生徒が大学の研修室を訪問して教授からアドバイスやテーマをもらうなどの試みを検討中です。研究とは何なのか。気づきを与えることで、生徒に主体的な学びを深めてもらいたいと考えています。

### PICK UP!!

#### 地域に根ざした学びの推進

同じ地域で生きる方々のために、どんな力が役に立つのか。それは、自分自身と社会の関わりをより深く考えることにつながります。各大学との連携はもちろん、新座という地域に根ざした研究や学習への参加を通して、さまざまな学びの可能性が広がっていきます。

西武台高等学校は2017年10月3日、同じ新座市内にキャンパスを構える十文字学園女子大学との高大連携を発表。教育、研究、社会貢献に係る交流・連携を通じて、双方の活性化を進めています。





SEIBUDAI  
VISION  
05

# 進学実績 Academic Achievement

開校当初から取り組んできた先進的な教育ときめ細やかな進路指導で、一期生・二期生を志望大学合格に導いています。

## 西武台ならではの進路指導で大きな飛躍

本校では、難関大学の受験対策だけではなく、アクティブ・ラーニングを中心とした独自教育により、「主体的に考え、答えを導き出す力」を獲得することを重視しています。生徒の成長速度は人によってさまざまです。面倒見の良い先生や、苦楽をともにする仲間たちと過ごす中高一貫校の6年間は、大きな飛躍の機会となることは間違いありません。中学、高校時の学力に合わせたコース別教育は、生徒それぞれの個性を引き出し、きめ細やかな進路指導を可能にしています。

### ● 第一期生実績

[主な進学先]

筑波大学 高知大学 明治大学  
青山学院大学 成城大学 星薬科大学 ※既卒生含む

### ● 第二期生実績

[主な進学先]

明治大学(2名) 防衛医科大 埼玉医科大学 麻布大学(獣医学部)  
芝浦工業大学 東京電機大学 東京工科大学 成蹊大学  
國學院大学 武蔵大学

多くの生徒が中学生の頃から思い描いていた夢や進路目標を実現しています。

### Teacher's Message

西武台新座中学校が積極的に取り組んでいた先進的な教育が、中高一貫生の進路選択に大きな影響を与えました。

西武台新座中学校から西武台高校へ進学した一貫生たちが、大学受験をむかえしっかりとした結果を出してくれました。独自の教育システムを持つ中高一貫校の卒業生として、多くの一貫生たちが一人ひとりの夢を実現するための学校へ進みました。高校受験という波に翻弄されず、わが校が進めてきた、主体的に学ぶことやたくましい人間力の育成が実を結んだものと考えています。大学受験はもちろんですが、本校が大切にしている「一人ひとりと向き合い、最後まで寄り添う」という親身な指導が全ての基本です。

中高一貫教育統括主任 大城 成人

### 西武台で学べてよかったことは

**永瀬** 西武台の一番の特徴は、先生と生徒の距離が近いということだと思います。勉強のことはもちろんですが、プライベートなことも含めていろいろなことを話せました。

**高田** わからないところは、躊躇せずに先生に聞きに行きました。先生方も、わかるまで一生懸命説明してくださるので、力をつけることができたと感じています。

**永瀬** 先生も生徒もそうですが、6年一緒に過ごしているので、本当に仲良くなれるんですね。みんなそれぞれにキャラが立っていて、それを周りがちゃんと認めるようないい雰囲気がありました。

**高田** 高校受験がない分、中1から大学受験を見据えた勉強ができてよかったです。

**谷口** 高知大学の入試は少し変わっていて、

グループワークなんです。シャッター街となってしまった商店街をどう活性化するかをテーマにグループワークをし、プレゼンテーションするというのが今年の入試問題でした。グループワークは、西武台では中学の3年間を通じてずっと取り組んできたこと。これは、本当に役に立ったと感じています。

**永瀬** 私が志望する大学出身の先生がいらっやして、過去問を教えていただいたりしました。中学時代では、長野や山梨での勉強合宿が楽しかったし、勉強もはかどってよかったですね。

### 社会で果たしたい役割は

**高田** 僕は、中学の時から漠然と医療系に進みたいと思っていました。高1の時に弟が救急車で運ばれることがあって…。弟は無事だったのですが、緊急時に医者さまだけでなく、周

りのスタッフの方々が的確にコミュニケーションをとって、治療を進めていく様子を見て、薬剤師になりたいという気持ちが固まりました。志望する大学、学部に進むことができましたので、その道を通り直ぐ進みたいと思っています。

**谷口** 実は、高知は僕の地元なんです。祖父が認知症になってしまい、様子を見るために里帰りするたびに、人が減り、産業が衰退するさまを目の当たりにしてきました。僕が学ぶ地域協働学部の中心テーマは、地方再生です。将来は、ふるさと高知をしっかり後の世代に引き継げるような仕事をしたいと思っています。

**永瀬** 先生になることが小学生の頃からの夢でした。好きな数学をわかりやすく教えられる、そして西武台のように生徒との距離が近い先生になりたいと思います。



第一期生 座談会

## 卒業生インタビュー Graduates interview

### 第二期生 座談会

### 西武台で学べてよかったことは

**岡野** 入学したころは数学が嫌いでした。でも、先生の教え方が面白くて、夢中になって勉強するうちに得意科目になっていました。わかるきっかけがあると、モチベーションも上がって、楽しくなってくるんですね。

**真宗** 私ははじめは数学が苦手だったのですが、テストの成績を見かねた先生に、放課後にマンツーマンで教えてもらえました。西武台は先生と生徒の距離が近く、気軽に勉強の相談にのってもらえて、うれしかったです。

**石原** 推薦入試を受けたので、面接でグループディスカッションをする機会がありました。西武台では授業にアクティブラーニングを取り入れていて、グループワークやプレゼンテーションを日常的に行っています。考えを頭の中でまとめて、発言することに慣れていたので、緊張する中でも言葉を選んで自分の意見をはっきり

り言うことができました。

**木山** 英語の曲を歌ったりすると、発音いいなって言われます。英語の授業の「ザ・ジングルズ」や「Sタイム」でみっちり発音を勉強したからですね。でも本番はこれからです。大学や社会では、外国人と話す機会も増えるので、もっと役に立つと思います。

### 将来の夢や社会で果たしたい役割は

**真宗** 子どものころ風邪をひくと、「熱があるならこれね」って、看護師の母が薬を選んでくれました。そんな姿がプロフェッショナルな感じで、格好良く看護師をめざしています。健康は生活の基本。たくさんの人たちが毎日を普通におくれるように、健康面から支えていきたいと思っています。

**岡野** 高校生の半数以上が数学嫌いというデータがあるんです。それは、中学のときに基

礎をちゃんと理解できていないからだだと思います。自分も数学は苦手からスタートしているので、数学好きを少しでも増やすために教員をめざします。今回受験した大学は、すべて数学教員の資格が取れる大学です。

**石原** 情報化が進んで、未来は予測ができなくなっていると思います。大学では広い領域を学ぶ社会学を専攻し、どんな世の中になっても対応できる力を身につけたいと思いました。

**木山** 幼稚園ころから父と同じ職業の獣医になりたいと思っていました。日本は人口が減少して、高齢化や核家族化が進んでいます。お年寄りの方は一緒に暮らす家族が少なくなって、寂しいからペットを飼っていると思います。ペットがみんなの精神的な支えになっているのであれば、獣医は社会に貢献できる仕事だと思います。



石原 大瑚さん  
武蔵大学 社会学部  
[中学]B組 特進コース  
[高校]2組 特進コース

岡野 克哉さん  
明治大学 総合数理学部  
[中学]B組 特進コース  
[高校]1組 特進選抜コース

真宗 奈緒さん  
防衛医科大学校 看護学科  
[中学]B組 特進コース  
[高校]1組 特進選抜コース

木山 裕太さん  
麻布大学 獣医学部  
[中学]A組 特進選抜コース  
[高校]1組 特進選抜コース

# 06 仲間と築く 学校生活

# CLUB ACTIVITIES

# 06

「教えてもらう」から「自分で考えて行動する」へ。部活動は体力や技能の向上を目指すとともに、生徒が自主性を身につける学びの場でもあります。

## Teacher's Message

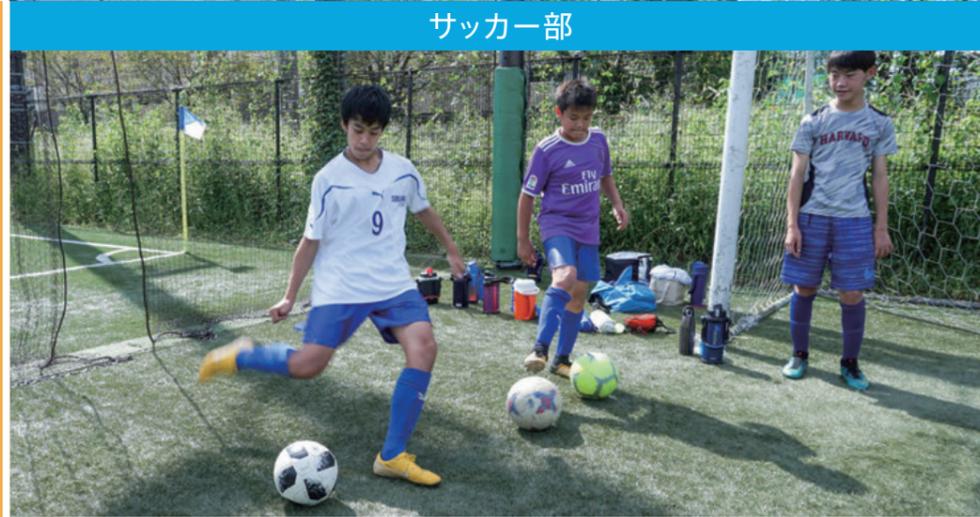
今年から高校サッカー部監督の私と新たに迎えたコーチと共に中学生への本格的な指導をスタートさせます。コーチ陣全員が日本サッカー協会の指導者ライセンスを取得しているプロフェッショナルです。

サッカーに限らず、子どもの指導は10歳を境に「教えてあげる」から「自分で考えて行動する」への切り替えが重要となります。自分でできるようになった喜びをモチベーションとできるような指導を行っていきます。また、学業と部活動を良いサイクルで習慣づけたことで、サッカーで成績を残し、有名大学に合格していった選手をたくさん目にしてきました。文武両道の精神を大切にします。

もちろんゲームに勝つことは目標とします。しかし、自立することの喜びと責任を持てる人間力の育成も忘れません。共に学び、戦っていきましょう。私たちは皆さんを、生徒ではなく、チームの仲間として迎えます。



サッカー部監督  
守屋 保



サッカー部



陸上部



英語部 (ディベートチーム)



バトン部



女子バスケットボール部



男子バスケットボール部



ロボット制御部



書道部



ラグビー部



女子硬式テニス部



男子硬式テニス部



新体操部



アルティメット部

# 06 仲間と築く学校生活 SCHOOL LIFE

美しく整った校舎、温かく頼れる先生、同じ時を過ごす大切な仲間たち。  
たくさんの体験と豊かな教育内容を備えた本校で、実りある6年間を過ごしてください。  
かけがえのない、素晴らしい中学・高校時代が待っています。

## 学校の1日

**8:15 登校**  
規則正しい登校時間を心がけ、気持ちよくスタート。

**8:55 午前授業**  
20分授業(Sタイム)から学習スイッチをオン。

**12:00 昼食**  
しっかり食べて午後授業のパワーをチャージ。

### 給食



栄養バランスを考え、野菜や魚を多く取り入れた、おいしい給食を提供しています。メニューのバリエーションは豊富で、学期末には「おたのしみ給食」があり、仲間や先生と触れ合う大切な機会を演出します。  
また、カフェテリアにはオープンキッチンが併設され、雰囲気の違いが楽しめる食事をすることができます。  
給食の時間は頭を休ませるひととき。心もお腹も満たし、学力と同様に身体の基礎を健やかに築きましょう。

**12:30 午後授業**  
リフレッシュした後は4~6時間の授業を開始。(火・金は7時間)

**16:35 清掃**  
1日お世話になった学び舎。明日に向けてより美しく。

**17:00 下校**  
帰宅するまでが学校生活。さっそく今日の振り返りを。

## 年間行事

	4月	入学式、始業式、健康診断、クラブ説明会、オリエンテーション(中1)、大テスト、授業参観、ベネッセ進研模試
	5月	西武台アカデミア、三者面談、生徒総会、避難訓練、1学期中間考査、体育祭、三者面談
	6月	生徒会役員選挙、クリーン大作戦
	7月	1学期期末考査、水泳教室、1学期終業式、教養講座、夏期講習、夏期勉強合宿、アメリカンサマーキャンプ(中2)、夏季休業
	8月	夏期講習、2学期始業式、大テスト
	9月	武陽祭※、西武台アカデミア2 ※「武陽祭」は毎年9月に実施される本校の文化祭です。生徒会が中心となってテーマを決め、趣向を凝らした企画で来校者をお迎えします。本校の魅力を感じてくれる絶好の機会です。
	10月	クリーン大作戦、2学期中間考査、安全講習、避難訓練、ベネッセ進研模試、芸術鑑賞
	11月	授業参観、総合表現活動(合唱祭など)、二者面談
	12月	2学期期末考査、2学期終業式、冬期講習、冬季休業
	1月	3学期始業式、教養講座(百人一首)、大テスト、寒稽古
	2月	スキー教室、マラソン強歩大会、ベネッセ進研模試、授業参観、西武台アカデミア3、学年末考査(中3)、三送会
	3月	学年末考査(中1・2)、修了式、オーストラリア人間力研修(中3)、卒業証書授与式、春期講習

## 制服紹介



# 施設紹介 FACILITY



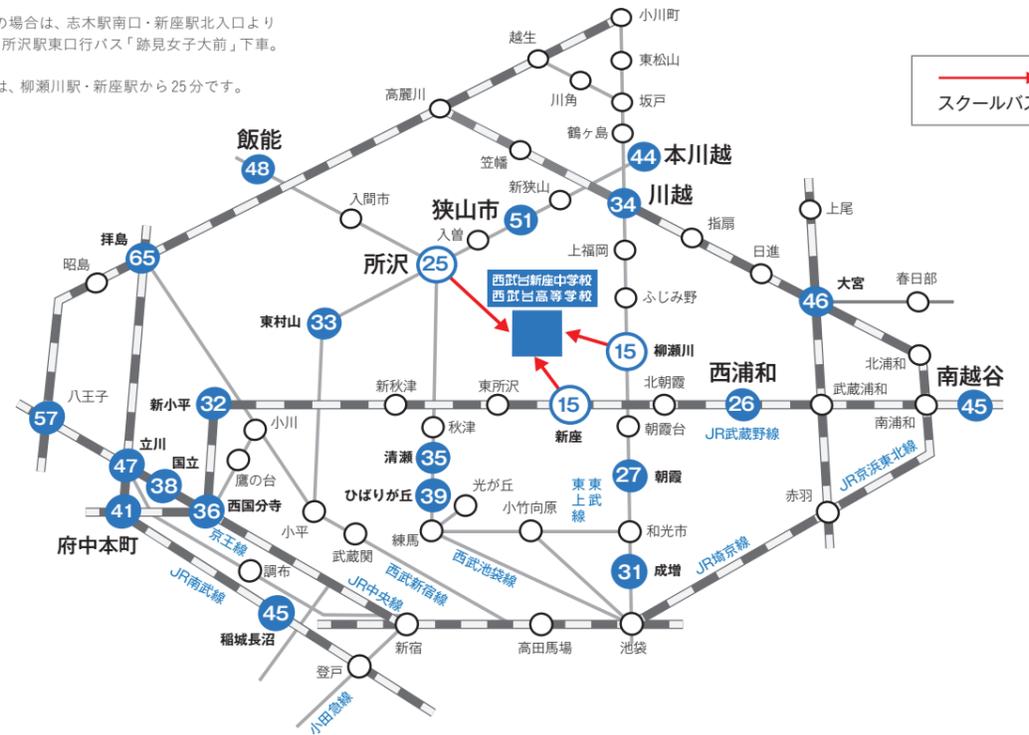
- |  |   |   |
|--|---|---|
| 1 第一校舎 ..... 1F 受付・事務室・校長室<br>職員室・進路室・保健室<br>2F~4F 教室・特別教室 | 3 武陽記念館 ..... 2F・3F 教室                          | 6 生徒会館 ..... 1F カフェテリア<br>2F Study Pod (個別学習ブース)<br>図書室・特別講義室<br>3F 運動部部室 |
| 2 第二校舎 ..... B1 合奏室<br>1F~4F 教室・音楽室                        | 4 体育館 ..... 1F 武道場<br>2F 競技場・ギャラリー(トレーニング施設)    | 7 会議棟   |
|  | 5 こぶし館 ..... 1F スクールバス発着所<br>2F 運動部部室<br>3F 競技室 | 8 美術・技術工芸棟 ..... 1F 剣道場<br>2F 美術・技術工芸室                                    |
|  |   | 9 中学校校舎 ..... 1F 職員室・多目的ホール<br>2F~3F 教室<br>4F SACLA(スタジオ型教室)<br>サイエンスラボ   |
|  |   | 10 太鼓橋  |



# アクセス ACCESS

## 各駅からの所要時間

- 新座駅、北口からスクールバスで15分。
- 柳瀬川駅、西口からスクールバスで15分。
- 所沢駅、東口からスクールバスで25分。
- 乗換一回につき5分を加算して計算していますが、路線・時間帯により若干異なります。
- 路線バスご利用の場合は、志木駅南口・新座駅北入口より 跡見女子大行 or 所沢駅東口行バス「跡見女子大前」下車。
- 徒歩で学校までは、柳瀬川駅・新座駅から25分です。



## 最寄りの駅からの行き方

